

たんぼ新聞

ちえのわ
たんぼ係

しろか 代掻きと たう 田植え

しろか 代掻きをしました！

5月になり、いよいよ米作りの作業もたんぼへと場所を移します。田植えをする前に代掻きという作業があります。

代掻きには、2種類あり、まず荒代掻きをします。荒代掻きは、たんぼに水を入れる前に土を起こす作業です。それが終わるとたんぼに水を入れ、本代掻きを入れます。

さあ、**田植え**をしよう
本代掻きが終わると、たんぼの作業で最も大事な作業、田植えです。苗の長さが12cmから13cmに育ったら、田植えをするに適切な時期になります。まず初めに、均等な間隔で苗を植えるために、たんぼに目印を付けます。ちえのわでは、すらんテープを目印にし、間隔は30cmにします。この目印をもとに、苗を3、4本ずつ取って、まっすぐ植えていきます。田植えをした後は、成長に合わせてたんぼの水の量を調整します。



6月のたんぼ
6月のたんぼでは、笹船や草笛を作って、みんなで遊びましょう！